

代替授業実践報告からみる保育者養成課程における 英語教材に関する考察

村木恭子 新谷敦子

1. はじめに

2020年の初頭から始まったコロナウイルス感染症対策及び緊急事態宣言を受け、大学での対面授業ができなくなりオンライン（代替）授業がはじまった。代替授業についてはマニュアルもなく、学生の置かれている環境も分からない、また教科書についてはいつ学生の手元に届くか分からない中で、どのような学習環境を提供すべきか、担当者間で試行錯誤してきた。終わりの見えない状況の中で、学習は止めてはならない、但し入学後まもない状況でかつ対面していない学生を対象としていることから、無理のある学習内容にはせず、対面授業への導入と位置づけ、できるだけオンラインで学習できる教材の準備を行った。

本稿では、保育者養成課程における語学科目である「英語」の履修者に対して行った代替授業を振り返り、実際に使用した教材についてまとめ、代替授業後のアンケートを行った結果を振り返る。

2. 代替授業について

代替授業は、2020年4～5月末までの、計5回、また7月末の2回分を代替授業として実施した。今回の報告では、代替授業のうち4～5月末までの計5回分を対象とする。

英語は、通常6クラスに別れ、3人の担当者が共通の教科書を用いて授業を進めていくが、今回代替授業の導入では、担当者別の指示では混乱をきたす恐れがあることから、授業用のホームページを立ち上げることで共通の内容とした。以下が、4～5月までの計5回分の内容の概要である。尚、教科書以外の教材については、3章で詳しく説明する。

- 1回目：授業ガイダンス・Lesson 1基礎編
- 2回目：Lesson 1続き・幼保英検について
- 3回目：幼保英検について・子ども英語関連サイトの紹介・Lesson 2
- 4回目：Lesson 2復習・YouTubeを使って子どもの英語の歌を調べよう
- 5回目：Lesson 3

各回、学習は各自のノートや、教科書のデータを印刷した物などに記録すること、対面授業開始時に確認することを伝えて学習を進めるように指示した。また、出席確認として Google フォー

ムを用いて課題の提出を求めた。学習状況の確認及び課題の答え合わせについては、ホームページ上並びに対面授業時に各担当者が行い、代替授業期間中に受けた質問については、質問の回答をまとめた上で、授業用ホームページで公開した。

3. 学習教材について

教科書以外の教材として、幼保英検について、子ども英語関連サイトの紹介、教科書の補足として英語学習サイトの紹介、さらに「YouTubeを使った子どもの英語の歌を調べよう」という課題を取り入れた。以下は、教材及び課題の概要である。

3.1 幼保英検について

幼保英検とは、保育者等が現場に即した英語でのコミュニケーション力の習得及び向上を目的に設けられている英語の検定試験である。高等学校までに、誰もが一度は英語検定試験（英検）という言葉自体を聞いたことがあると想定されることから、幼保英検のホームページを各自で見ることで、どのような試験であるか知ってもらうために、以下の設問を調べてみるという課題を設定した。さらに、実際に体験してもらうために、リーディング課題・リスニング課題にそれぞれ取り組んでもらった。

- 1) 幼保英検は一年に何回受けられるでしょう？
- 2) 試験日はいつですか？
- 3) 何級から何級までありますか？
- 4) 3級は100点中、リーディングは何点、リスニングは何点ですか？

3.2 子ども英語関連サイトの紹介

通常の対面授業では、子どもに英語を使って保育をするという設定の中では、TPR (Total Physical Response) を使った英語ゲームや、英語の絵本の紹介、英語の歌の紹介などを行ってきた。今回は、インターネットを活用した教材として、以下の3点を取り上げた。

- 1) おりがみ（おりがみクラブ：<https://www.origami-club.com/index.html>）

保育現場で欠かせない製作活動の1つであること、また海外の保育現場に興味を持つ学生もいることから、今回取り上げた。また、英語だけでなく、中国語など他の言語でも折り方を紹介しているということも、このサイトを取り上げた理由である。

- 2) 季節の塗り絵（ぬりえで英語アクティビティ：<https://teacher.alc.co.jp/kc/nurie/>）

子ども達が大好きな活動の1つで、英語表現も入っているので現場で使用できそうであること、また教室の壁面としても応用できそうであることから、今回取り上げた。

3) 子どもの英語の歌 (マザーグース・子供向けの英語の歌・キッズソング: <http://www.worldfolksong.com/kids/>)

子どもを対象とした英語活動の代表的な物が、「歌」であることからどのような英語の歌があるか紹介をするために今回取り上げた。また、3.4で説明する課題につなげる位置づけとした。

3.3 英語学習サイトの紹介

単語及び英語表現の学習に関しては、原則文字で解説を行った。辞書としては、インターネット上で誰でも使用可能なものとして、英辞郎 (<https://eow.alc.co.jp/>) 及び weblio (<https://ejje.weblio.jp/>) を紹介した。また、学習の補足として「英語で名前を書く方法や、呼び方」「have の使い方」及び教科書で紹介された単語の中で“blood type”の発音を説明するためにフォニックスの紹介(あいうえおフォニックス: <https://aiueophonics.com/>)を行った。

3.4 YouTube を使った子どもの英語の歌を調べよう

例年の対面授業では、子ども向きの英語の歌を授業内で取りあげ、クラスで歌ったり、プレゼンテーションの一環として使用している。今年度はプレゼンテーションの場が十分に取れないことも想定されることや、インターネット素材を使用することで、個人でも課題に取り組むことが十分できることも想定されたため、YouTube を使って子どもの英語の歌を調べてレポートにする課題を設定した。

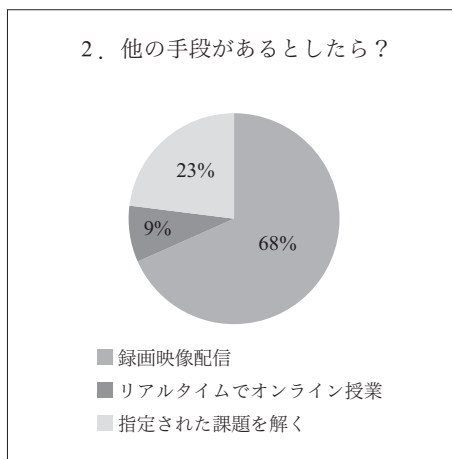
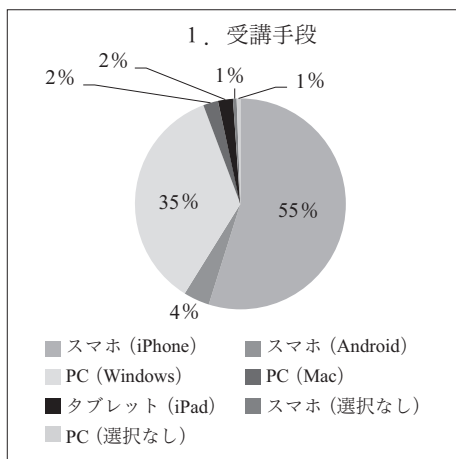
4. 代替授業アンケート

2020年6月より対面授業は開始されたものの、いつ代替授業に戻るか分からない状況ではあったため、今後より良い学習環境を準備するために、受講生に対してアンケートを行った。4.1以降がアンケート内容及び結果である。尚、回答は受講者163名中、146名の学生より提出された。

4.1 受講手段・他の学習手段に関する設問

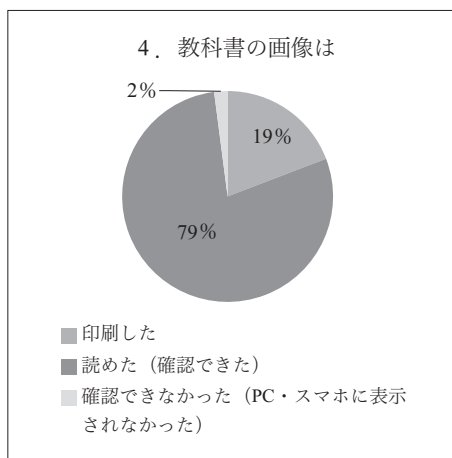
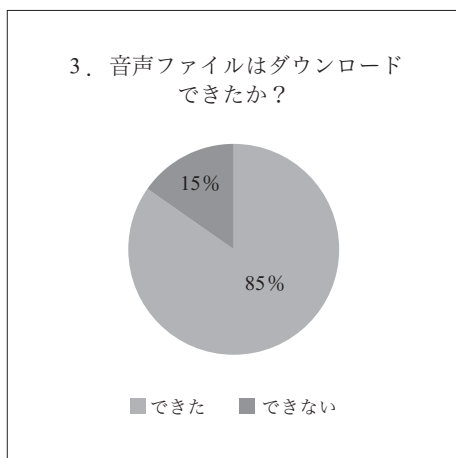
受講手段については、入学後間もない学生であることから、スマートホンでの受講が想定されたため、動画を使うのではなく、できるだけパケット通信に負担のない学習の提示方法を優先させた。

予想通りスマートホンでの受講が半数以上を占めていたが、パソコン及びタブレットでの受講も多く見られた。また、他の手段があるとしたら、という問いに対しては、録画映像配信との回答が多く、対面授業にできるだけ近い形での受講を求めている学生が多いことも特徴的である。



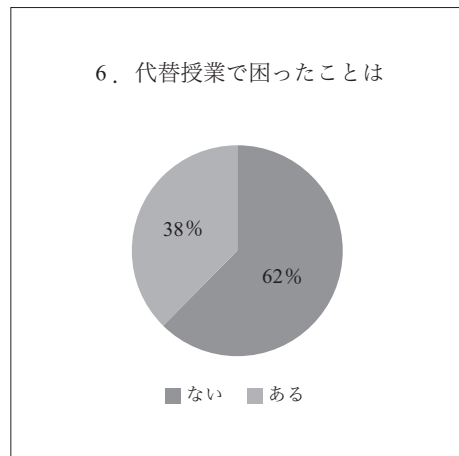
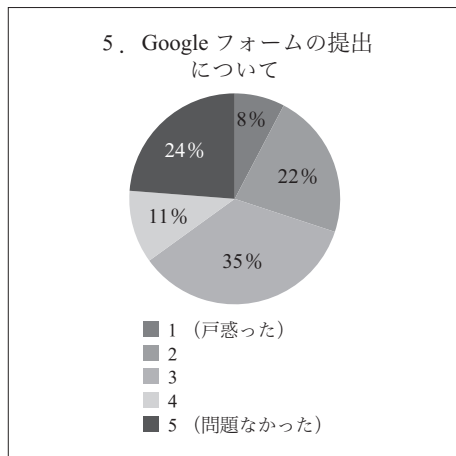
4.2 コンピュータリテラシーに関する設問

代替授業を行う上で最も大きな心配が、コンピュータリテラシーの問題であると言っても過言ではないであろう。語学の授業では、音声が必要であるため、教科書に付属した音声をダウンロードすること、また課題では一部音声をホームページ上で再生することを行った。また、教科書の準備が間に合わないことも想定されていたため、使用する箇所を画像として授業用ホームページに掲載した。



音声ファイルのダウンロードについては、85%の学生ができたという回答をした。残りの学生は、できなかったという回答であるが、この点については機械側の容量の問題であるのか、ダウンロード上のトラブルであるのかは確かではなく、個別対応をしても解決できない場合もあった。受講を円滑に進めるためには、オンライン上で再生できる方法を作るなど、多数の手段を用意する必要があると考えられる。

教科書の画像については、若干名であるが、表示することができなかったという回答があったが、ほぼ問題なく使用できていたことが分かった。



課題の提出を、今回は Google フォームで行ったが、それについて「戸惑った=1」から「問題なかった=5」の5段階で評価してもらった。戸惑った（1、2）と回答したのは約30%であった。

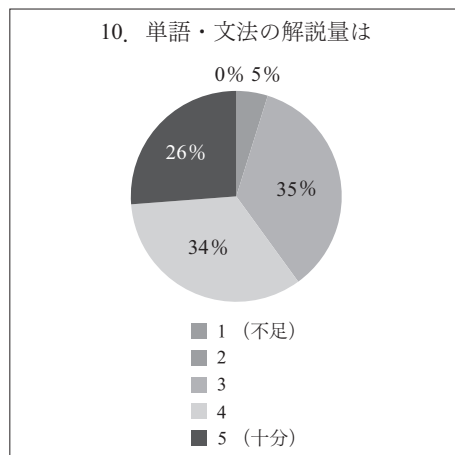
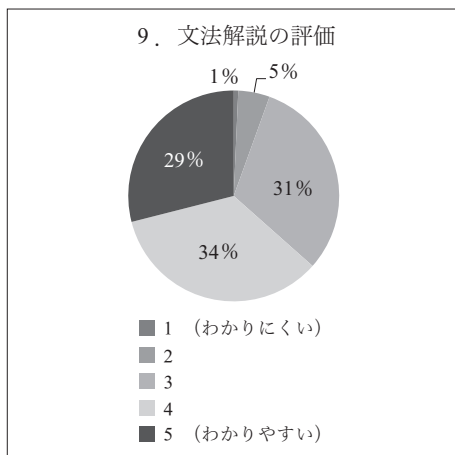
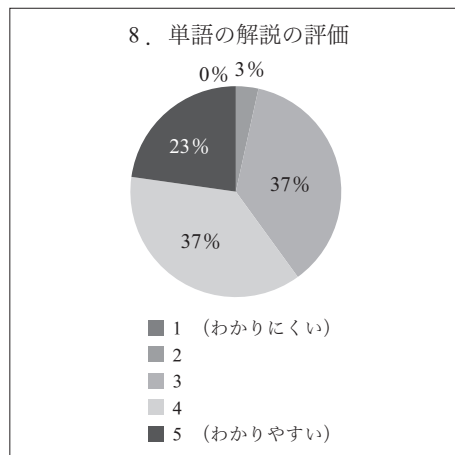
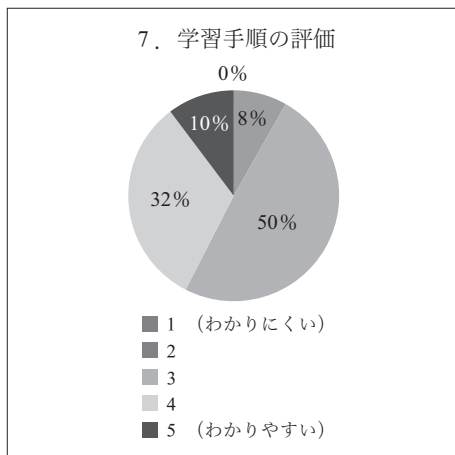
代替授業で困ったことはあるか、という問いに対しても約40%の学生があると回答した。困ったことの内訳としては、音声ファイルのダウンロードや、ホームページの操作方法、課題の提出方法があげられた。大学全体として、Moodleの使用が推奨されていることから、Moodleを活用する方法を取った方がよりサポート体制が整っており、混乱は起きなかった可能性が考えられる。

4.3 学習手順及び内容（教科書）に関する設問

学習手順については、毎回「今日の流れ」というように、何をすべきか流れを掴みやすいように学習内容の概略を提示した、また教科書を使った学習については、単語の学習・表現の学習・実践問題と分かれていることから、内容別に文字での説明を適宜行った。

学習手順、単語の解説、文法解説の評価については「わかりにくい=1」から「わかりやすい=5」の5段階で評価してもらった。また、単語・文法の解説量については、「不足=1」から「十分=5」の5段階で評価してもらった。

学習手順については、わかりにくい（1・2）との回答は10%以下であったことから、学習への大きな混乱は見られなかったと考えられる。単語及び文法解説については、わかりやすい（4・5）への評価は約60%、解説量についても、十分である（4・5）との評価が約60%であった。解説を文字で読むという環境だけでは、理解へのつながりが満足度を高めるといふ状況までには至っていないということが考えられる。

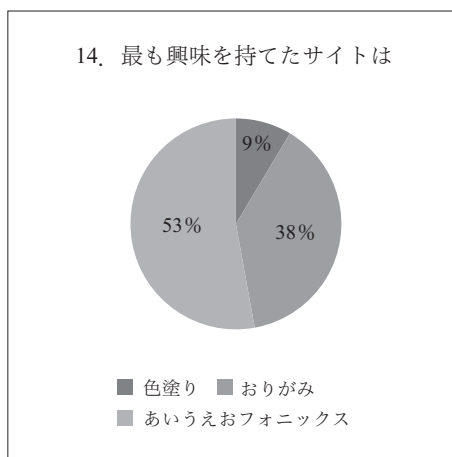
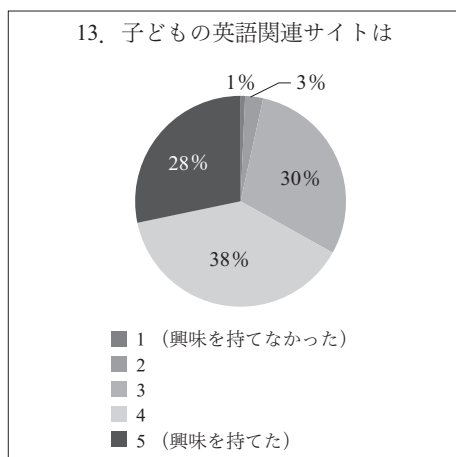
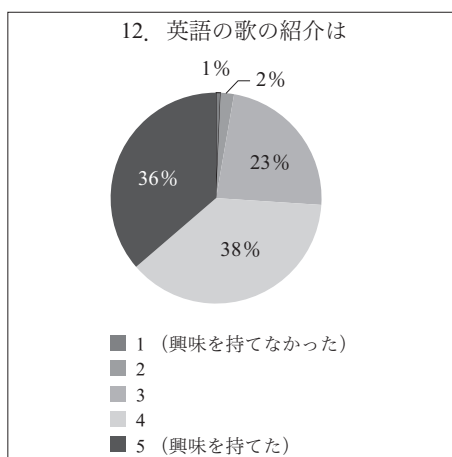
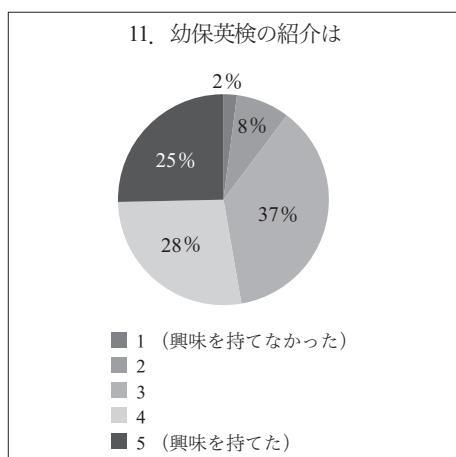


4.4 教科書以外の学習内容についての設問

教科書以外の内容として、幼保英検の紹介、英語の歌の紹介、子ども英語関連サイトは「興味を持たなかった=1」から「興味を持てた=5」の5段階で評価してもらった。また、興味を持てたサイトについては、1つ選択してもらった。

幼保英検については、約10%が、興味を持たなかった(1・2)としていたが、約半数が興味を持てた(4・5)と評価した。まだ授業の初期段階であるということが、興味には影響している可能性も考えられる。

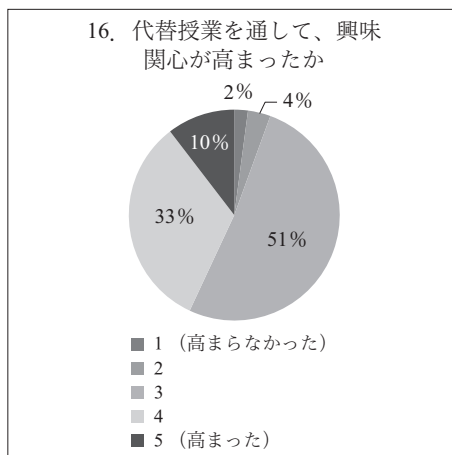
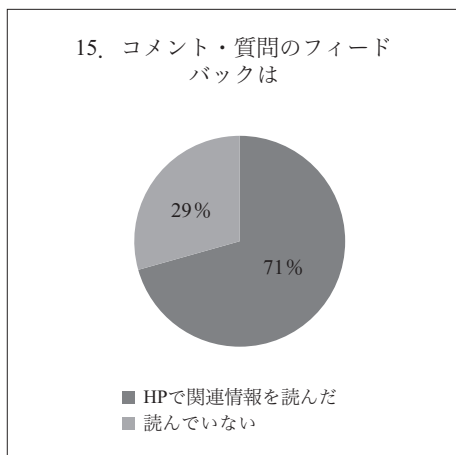
英語の歌及び子ども英語関連サイトについては、約70%の学生が興味を持てた(4・5)と評価した。また、半数の学生が興味を持てたサイトとして「あいうえおフォニックス」をあげた。フォニックスについては、幼少期の英語教育で取り上げられていることも多く、フォニックスを小学校の英語活動等で学んだ経験がある、という声もあった。おりがみについても、実践で生かせそうという声も多数あがった。



4.5 その他の設問

代替授業では、コメント・質問に対する返答を、抜粋する形ではあるが、ホームページ上で回答した。また、代替授業を通して、「興味関心が高まった＝5」から「高まらなかった＝1」の5段階で評価してもらった。

約70%が、コメント及び質問のフィードバックを読んでいたと回答した点については、安堵している反面、より良い提示方法がなかったかと振り返りをすべき点である。代替授業を通して、授業への興味関心が高まったかという設問に対しては、高まった（4・5）とする回答が約40%であり、高まらなかった（1・2）とする回答は約5%であった。



5. まとめ

本稿では、2020年4～5月末までの保育者養成課程における英語履修者を対象とした代替授業の概要及び、授業アンケートを考察してきた。様々な制限のある中で、いかに授業を進めるか最善の努力はしてきたが、コンピュータリテラシーの影響や、対面授業よりは音声や映像が不足する、という語学の学習・授業では最も重要な部分がデメリットとして出てしまい、学習に影響を及ぼすということも明らかになったと思われる。また、大学の推奨されている Moodle 以外のツールを使用していたことも学生側に負荷をかけてしまっていた可能性も示唆された。一方では、代替授業を用いることで、学習者のペースで取り組むことができることや、インターネットを活用した調べ学習ができるという点は最大の利点であると言えるだろう。今後、代替授業を本格的に行う必要が出てくる際には、できるだけ対面授業に近い形で授業を提供できるような準備が、日頃から必要である。またオンライン上で対話も可能にする Microsoft Teams や Zoom などのツールを活用することも積極的に検討していく必要がある。さらに保育者養成課程での英語教育という面では、幼保英検受験を意識した基礎的な英語力の向上と同時に、「おりがみ」や「フォニックス」「英語の歌」などのより実践で取り入れられるような活動も複数取り入れていく必要があると考えられる。

謝辞

受講生の皆さんおよび山之内健太先生にご協力頂きました。御礼申し上げます。

参考文献

高橋妙子・宮田学 (2014) 保育英語の練習帳 萌文書林

(受理日 2020年1月7日)

<資料>

2020年度 保育科英語 代替授業（オンライン授業）に関するアンケート

- ◎ このアンケートは、代替授業（オンライン授業）に関して振り返りをして、今後万が一オンライン授業になった際により良い授業とするために行います。授業の成績には一切入りませんので、感じた通りに記入してください。
- ◎ ○で囲む、その他については内容を記入してください。

[受講手段・オンライン操作について]

1. 英語オンライン授業は、何をを使って取り組みましたか？

スマホ (iPhone Android その他)

パソコン (Windows Mac) タブレット (iPad Android その他)

その他 ()

2. ウェブサイトで実施したこの英語の授業は取り組みやすかったですか？

1	2	3	4	5
とりにく		ふつう		とりやすい

他の手段があるとしたらどの方法が良かったですか？

録画映像配信 リアルタイム（決まった時間）でオンライン授業
 指定された課題を解く

3. 教科書の音声ファイルのダウンロードはできましたか？

できた できない

4. 教科書の画像は

印刷した	読めた	確認できなかった
	(確認できた)	(パソコン・スマホに表示されなかった)

5. 学習手順を5段階で評価すると

1	2	3	4	5
わかりにくい		ふつう		わかりやすい

[授業内容について]

6. 単語の解説を5段階で評価すると

1	2	3	4	5
わかりにくい		ふつう		わかりやすい

7. 文法の解説を5段階で評価すると

1	2	3	4	5
わかりにくい		ふつう		わかりやすい

8. 単語・文法の解説の量は

1	2	3	4	5
不足していた		ふつう		十分

9. 幼保英検の紹介は

1	2	3	4	5
興味を持てなかった		ふつう		興味を持てた

10. 英語の歌の紹介 (YouTube で歌を探す課題を含む)

1	2	3	4	5
興味を持てなかった		ふつう		興味を持てた

11. 子どもの英語関連サイト (色塗り・おりがみ・あいうえおフォニックスのサイト) は

1	2	3	4	5
興味を持てなかった		ふつう		興味を持てた

12. 最も興味を持てたサイトは

色塗り	おりがみ	あいうえおフォニックスのサイト
-----	------	-----------------

13. 英語の学習サイト (weblilo の have の使い方について、英語で名前を書く際に first name, family name について)

1	2	3	4	5
興味を持てなかった		ふつう		興味を持てた

14. Lesson 4 の単語の予習として、画像を使った単語の学習はどうだったか

見た	見たが、単語が表示されなかった	見ていない
----	-----------------	-------

見た人は……画像を使った単語の学習に関して

1	2	3	4	5
興味を持てなかった		ふつう		興味を持てた

15. オンライン授業を通して、この授業への興味関心が高まりましたか？

1	2	3	4	5
高まらなかった		ふつう		高まった

[課題の提出について]

16. 課題提出について 量は

1	2	3	4	5
少ない		ふつう		多い

Google form での提出について

1	2	3	4	5
戸惑った		ふつう		問題なかった

[その他]

17. コメント・質問に対する回答 (フィードバック) について

HP で関連する情報を読んだ	読んでいない
----------------	--------

18. オンラインの授業で困ったことは

ない

ある 何が困ったか？（複数回答 OK です）

- | | | |
|------------------|---------|---------------|
| 1. 受講機械 | 2. 通信環境 | 3. web サイトの操作 |
| 4. 音声ファイルのダウンロード | 5. 印刷 | |
| 6. その他（ | | ） |

19. 何かコメントがあれば、自由に書いてください